

高校教員向けアンケート

報告書

マイナビ進学総合研究所では、外部パネルを利用し高校教員に「昨年度の進路実績」「今年度の進路指導計画」などを幅広く調査しました。全国の高等学校の状況を正しく把握し、高等学校及び高等教育機関の皆様には有益な情報を発信することを目的としております。このたび、調査結果がまとまりましたのでご報告いたします。

【調査概要】

- 調査名 : 高校教員向けアンケート
- 調査委託先 : マクロミル
- 調査回収期間 : 2022年7月19日～2022年7月25日
- 調査回答者 : マクロミルのモニタ会員（全国の高校教員）
- 有効回答者数 : 595人（全日制：515人／定時制：47人／通信制：32人／他：1人）

※文字数と紙面の都合により、表現を短縮している場合があります。

Q. あなたが主にお勤めの高校の進路実績として、最も近いものを選択してください。

実施したアンケート中の回答選択肢	本誌での表現
1.ほとんど全員が大学に進学する	1.進学校（ほぼ大学）
2.ほとんどが大学に進学するが、一部短大・専門学校にも進学する	2.進学校（短大・専門含む）
3.約半数は大学に進学するが、短大・専門学校への進学者や、就職者もいる	3.進路多様校
4.短大・専門学校進学者や就職者が多い	4.短大・専門・就職メイン校
5.上記のどれにも当てはまらない	5.その他

Q. 受験人数の増減に関する設問

実施したアンケート中の回答選択肢	本誌での表現
とても増えた（+20%以上）／とても増える（+20%以上）	とても増えた／とても増える
増えた（+20%未満）／増える（+20%未満）	増えた／増える
変わらない（概ね±5%以内）	変わらない
減った（-20%未満）／減る（-20%未満）	減った／減る
とても減った（-20%以上）／とても減る（-20%以上）	とても減った／とても減る

本資料に掲載のデータ、図版等の無断転載を禁じます。資料のご利用やご質問等に関しては下記までご連絡ください。

株式会社マイナビ 未来応援事業本部 進学情報統括本部 マイナビ進学総合研究所

E-mail : ms-souken@mynavi.jp

URL: <https://souken.shingaku.mynavi.jp>

INDEX	
調査結果 TOPICS	…P.3
回答者属性	…P.4
1. 昨年度の受験人数の変化（一昨年度との比較）	…P.5
総合型選抜／学校推薦型選抜／一般選抜／大学共通テスト	
実際の声	
2. 昨年度の志望学問分野の変化（一昨年度との比較）	…P.8
「特になし」などの回答割合	
その他の声	
3. 受験人数の変化予想（昨年度との比較）	…P.9
総合型選抜／学校推薦型選抜／一般選抜／大学共通テスト	
実際の声	
4. 志望学問分野の変化（昨年度との比較）	…P.12
「特になし」などの回答割合	
その他の声	
5. 進路検討状況（コロナ前との比較）	…P.13
「特になし」などの回答割合	
その他の声	
6. オープンキャンパス参加状況（コロナ前との比較、昨年度との比較）	…P.14
リアル形式／オンライン形式／両方合わせて	
7. 志望校選びの傾向	…P.15
「特になし」などの回答割合	
その他の声	
8. 進路指導計画	…P.17
実際の声	
9. 保護者との面談を通じた進路希望の傾向	…P.18
テキストマイニング結果	
実際の声	
10. APPENDIX	…P.19

調査結果 TOPICS

・昨年度の3年生（2022年3月卒業）の受験方式

いずれの選抜方式でも、半数以上の教員が一昨年度と受験人数が変わらなかったというコメント。
「増えた」「減った」と回答した中では、総合型選抜と学校推薦型選抜では、「増えた」がやや優勢だった。
実際のコメントでは、「安定志向」や、「共通テスト回避」といったキーワードがよく見られた。

・昨年度の3年生（2022年3月卒業）の志望学問分野

志望学問分野は、約64%の教員のコメントが一昨年度と変わらないというコメントだった。具体的に変化があったというコメントの中には、「資格取得」「手に職系」「医療系人気」「公務員狙いでの法学部人気」などが見られた。
コロナ影響による経済的不安や将来の仕事・職に対する不安が反映されているようだ。その他、「コロナ影響で国際系は減った」や、「データサイエンス人気が高まった」といった声も見られた。

・今年度の3年生（2023年3月卒業）の受験方式予想

いずれの選抜方式でも、半数以上は昨年度と変わらないだろうというコメントだった。
総合型選抜と学校推薦型選抜では、「増える」予想が「減る」予想よりも優勢だった。
一般選抜は「減る」が「増える」よりも少し優勢。大学入学共通テストは「増える」と「減る」がほぼ同じ回答割合。
総じて、年内志向、安全志向が今年度も継続する見込みというコメントがやや多い結果となった。

・今年度の3年生（2023年3月卒業）の志望学問分野

志望学問分野は、約71%が特に変わらないというコメント。具体的に変化があるというコメントでは、昨年度の3年生の傾向に引き続き、「資格取得」「手に職系」「データサイエンス」などのキーワードが並んだ。また報道等で20年来のドル高円安の状況を知り、「経済、金融分野に興味を持つ生徒も増えた」という声もあった。

・オープンキャンパス参加校数

現在、高校1年、2年、3年を担当している教員の声を確認した。いずれの学年でも、昨年度卒業生の同学年同月比で、あまり参加校数は変わらないという回答が過半数であった。ただし、リアル/オンラインの内訳で見ると、リアルOCは微減、オンラインOCの参加校数は増えたという声が多い。コロナ発生以前（2020年3月まで）と比較しても、オンラインOC増加の影響でトータル校数は変わらないという声が過半数であった。

・今年度の3年生（2023年3月卒業）の志望校選び

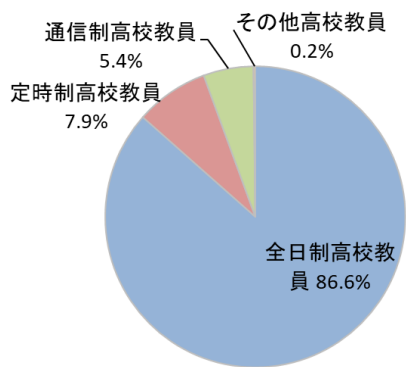
進路多様校においては「地元志向」「安全志向」といったキーワードが見られた。進学校においてはそれほど傾向が変化していない模様。以前はコロナ影響が色濃く出た「国際系」「県外進学」「留学志向」についても、今年は「以前の傾向に戻る」「今年もコロナ影響がある」と意見が分かれており、“After コロナ”への過渡期と思わせる意見のバラつきようであった。専門学校の志望校選びにおいては、「不況下での就職を避けて」「大学進学費用を捻出できず」「手に職をつけるため」といったことを（ややネガティブながらも）理由とする、専門進学増を予想するコメントが見られた。

回答者属性

※いずれのグラフも N 数 = 595

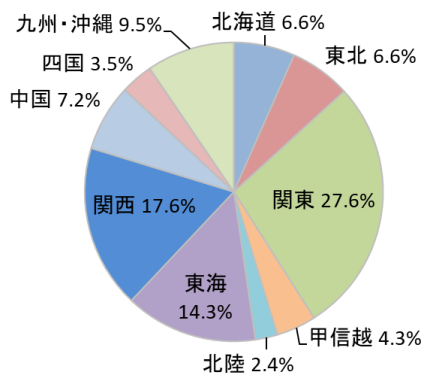
Q.スクリーニング設問.

全日制／定時制／通信制 を選択してください

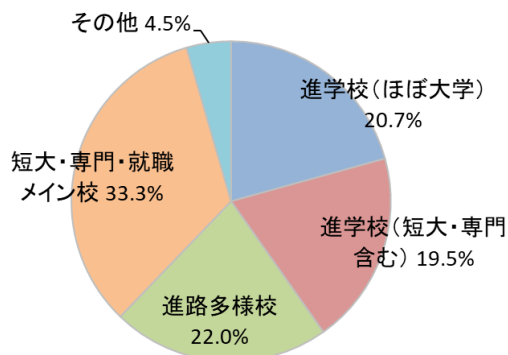


Q.あなたが主にお勤めの**高校の都道府県**を

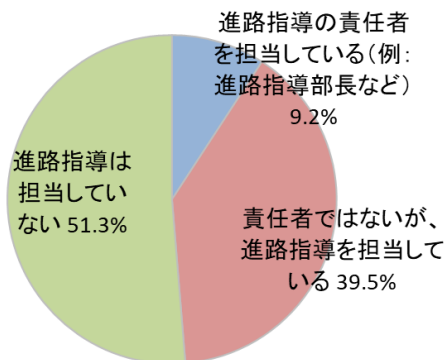
選択してください。(エリアごとに集計)



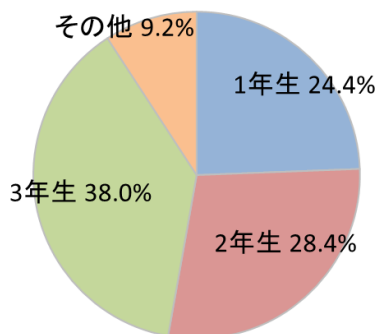
Q.あなたが主にお勤めの**高校の進路実績**として、
最も近いものを選択してください。



Q.進路指導に関してあなたに**最も近い役割**を
選択してください。



Q.あなたが主に**指導している学年**を選択してください。

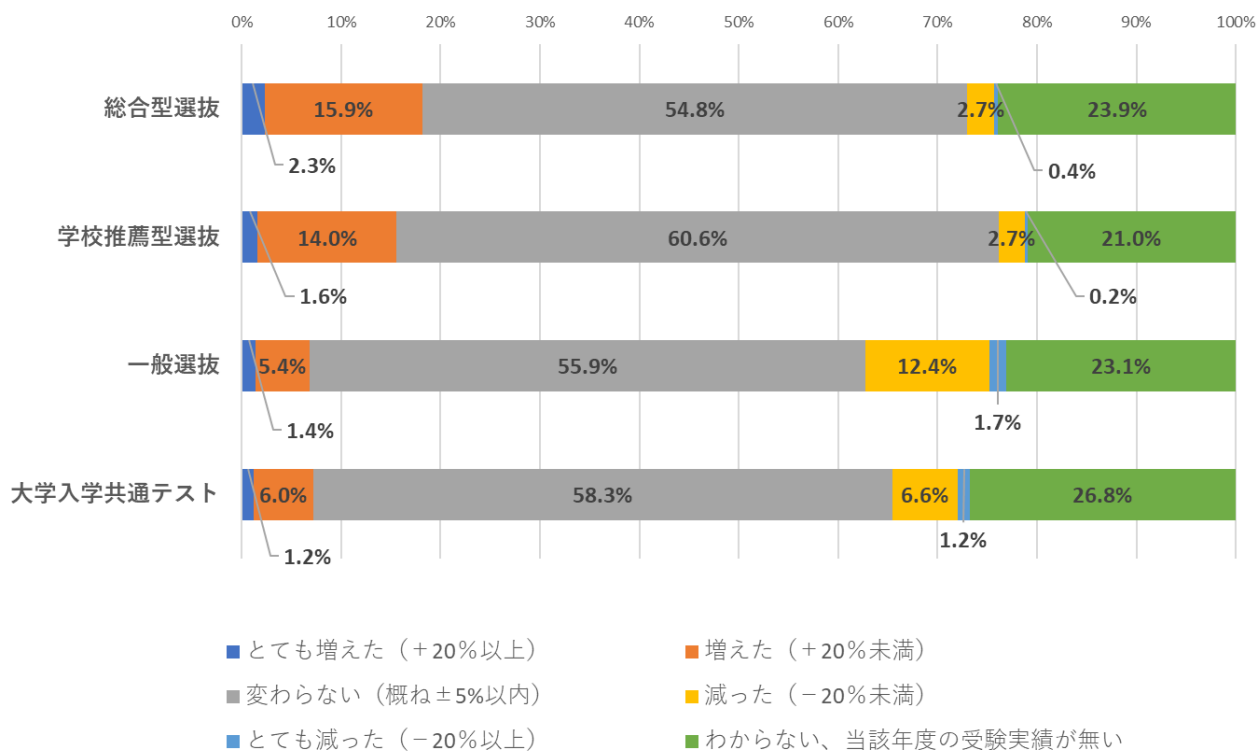


1. 昨年度の受験人数の変化（一昨年度との比較）

Q. 貴校の昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と一昨年の高校3年生（2021年3月卒業）を比較して【各選抜方式】の受験人数の変化を教えてください。

※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数=515



(次ページへ続く)

実際の声（※進路指導担当者の声のみ抜粋）（※全日制のみ）

【総合型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増えた	共通テスト対策への不安。安全志向	関東	進学校(短大・専門含む)
とても増えた	一般試験よりカンタンだから	四国	進学校(ほぼ大学)
増えた	共通テストなどの入試制度の変化。経済的不安などによる不安定さの回避	関東	進学校(短大・専門含む)
増えた	試験の偏差値にとらわれず合格が目指せる。先輩の成功事例を受けて、というのものもある。	関東	進学校(短大・専門含む)
増えた	一般受験に耐えられない生徒が多くなった	関東	進学校(短大・専門含む)
増えた	学校推薦型選抜に比べれば、評価基準は緩やかで、受験のチャンスを得やすいからだと考えます。	関東	進路多様校
増えた	実力で行きたくない生徒が増えた。(能力がない生徒が増えた)	関東	進路多様校
増えた	これにかけるといふより、たくさんの選択肢のうちの一つとして選んでいる生徒が多い	東海	進学校(ほぼ大学)
増えた	生徒の安全思考が強まり、推薦がもらえなかった生徒がAOを希望することが増えた。	東海	進路多様校
増えた	指定校推薦の条件に満たない生徒が受験するため	東海	短大・専門・就職メイン校
増えた	大学が多くの総合型選抜のパターンを用意するようになってきているから。	関西	進路多様校
増えた	学力に自信がないから	中国	進学校(短大・専門含む)
増えた	一般受験の募集人数が減少し、総合型選抜の募集人数が増える傾向にあるから	九州・沖縄	進学校(ほぼ大学)
増えた	沢山の教科を勉強したくないから	九州・沖縄	進路多様校
変わらない	去年とあまり変化がない。社会情勢が大きく変わっていないから。	東北	進学校(短大・専門含む)
変わらない	まだ総合型選抜の良さが浸透していないことや一般受験でのチャレンジをしたい生徒が多いこと。	関東	進学校(ほぼ大学)
変わらない	総合型選抜は毎年一定数の生徒が利用しているが、数に変化は見られない。	甲信越	短大・専門・就職メイン校
変わらない	生徒の質が変わらない。学校の方針も変わらないから	東海	進路多様校
変わらない	以前から総合型選抜を受験する生徒が多かったため	関西	短大・専門・就職メイン校
減った	志望校の魅力が伝わっていない	九州・沖縄	進学校(短大・専門含む)

【学校推薦型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増えた	共通テスト対策への不安。	関東	進学校(短大・専門含む)
とても増えた	学校指定の枠が決まっているから	東海	進路多様校
とても増えた	勉強ではなくて、学校内の成績で推薦を取りたい子が増えたから。	中国	進学校(ほぼ大学)
とても増えた	一般試験より受けやすい	四国	進学校(ほぼ大学)
増えた	指導強化を進めたから	東北	進学校(短大・専門含む)
増えた	受験試験で苦勞したくないから一般推薦入学希望が増えました。	関東	進学校(ほぼ大学)
増えた	様々な不安要素を回避するための安定志向の上昇	関東	進学校(短大・専門含む)
増えた	考査範囲の減少に伴い、評定の上昇。安全策。	関東	進学校(短大・専門含む)
増えた	より多くの入試機会を生徒が望んでいる	東海	進学校(ほぼ大学)
増えた	早めに合格を決めておきたいという保護者の意向が反映されている部分もある	東海	進学校(短大・専門含む)
増えた	スポーツ推薦など、一芸に秀でた学生が増えたことも影響している。	中国	進学校(ほぼ大学)
増えた	コロナ禍で学力に自信が持てないから	中国	進学校(短大・専門含む)
変わらない	できるだけ競争率の低い試験での勝負を望んでいる。指定校推薦を望んでいる生徒が多い。	東北	短大・専門・就職メイン校
変わらない	毎年いただける推薦枠にそれほど大きな変化はないので。	関東	進学校(ほぼ大学)
変わらない	枠が増えていないから	関西	進学校(ほぼ大学)
変わらない	第1希望でない、受験は控えるように指導している。	関西	進学校(ほぼ大学)
変わらない	コロナなどの影響もあり、受験をするより、推薦で行きたい学校を探る生徒が増えたから。	関西	進学校(短大・専門含む)
変わらない	初めの試験は基本的に学校推薦型で受験するよう指導している。	関西	進学校(短大・専門含む)
減った	コロナ禍で進学を考える人が少なくなった	九州・沖縄	進学校(短大・専門含む)

実際の声（※進路指導担当者の声のみ抜粋）（※全日制のみ） 続き

【一般選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増えた	学年全体が受験は団体戦という認識があった。	北陸	進学校(ほぼ大学)
とても増えた	本校が一般入試の重視へシフトしているから。	関西	進路多様校
増えた	進学を考える人が増えた。	甲信越	短大・専門・就職メイン校
増えた	チャレンジ精神が旺盛だった	東海	進学校(ほぼ大学)
増えた	推薦でなかなか受からず仕方なく受けた生徒が多いから	関西	進路多様校
増えた	進学したい子が多くなり、将来のことを考えるようになったから。	中国	進学校(ほぼ大学)
変わらない	ここ数年の指導から、一般入試が定着している。	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	一般選抜を受ける生徒はもともと少ないが数に変化はみられない。	甲信越	短大・専門・就職メイン校
変わらない	学校全体としては進路指導に対して変わっていない	九州・沖縄	進学校(ほぼ大学)
変わらない	総合型選抜を受けても必ずしも合格者数が増えない。一般入試受験者も増減する訳ではない。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
減った	一般入試で戦えるだけの学力が身につけていないから。	東北	短大・専門・就職メイン校
減った	総合型、公募型の合格率が上がった	関東	進学校(短大・専門含む)
減った	経済的に浪人をさせたくない、したくないご家庭が増えた気がする。	関東	進学校(短大・専門含む)
減った	学力的に厳しいことで早めの合格を目指す生徒が多い	関東	進学校(短大・専門含む)
減った	一般入試の割合は減った。挑戦する生徒が減った	関西	進学校(ほぼ大学)
減った	学校推薦が増え相対的に減少したから。	関西	進学校(短大・専門含む)
減った	そこまで頑張ろうという生徒が少なくなった	関西	進学校(短大・専門含む)
減った	早く受験を終えたい生徒が多くなっているから	九州・沖縄	進路多様校
減った	沢山の教科を勉強したくないから	九州・沖縄	進路多様校
とても減った	学力低下	関東	進学校(短大・専門含む)

【大学入学共通テスト】

回答	要因	高校エリア	主要進路
増えた	まだ就職したくないから大学入学共通テスト申し込み者が増えました。	関東	進学校(ほぼ大学)
増えた	大学共通テストを利用する大学が増えているからだと考えます。	関東	進路多様校
増えた	とりあえず受ける生徒が少し増えた	甲信越	短大・専門・就職メイン校
増えた	チャンスが広がるから	関西	進学校(ほぼ大学)
増えた	進学したい子が増え、大学に行って学びたい事が出来たから。	中国	進学校(ほぼ大学)
変わらない	国公立志望の生徒も私大志望の生徒も全員共通テストを受験させるため	関東	進学校(ほぼ大学)
変わらない	9割近くが受験する傾向は変わりません。	関西	進学校(ほぼ大学)
変わらない	学校全体としては、進路指導の方法が変化していない	九州・沖縄	進学校(ほぼ大学)
減った	総合型などで早く決めたい生徒が多い	関東	進学校(短大・専門含む)
減った	年内に進路を確定させてしまう生徒が大半のため	関東	短大・専門・就職メイン校
減った	実力で勝負していく学力を持った生徒が少ない	東海	進路多様校
減った	受けなくてもいい私大や受験方法で受験する生徒が増えた	関西	進学校(短大・専門含む)
減った	共通テストを避ける傾向が増えた。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
とても減った	共通テストを必要とする進学先を希望する生徒がいない	北海道	短大・専門・就職メイン校
とても減った	コロナの影響	関東	進路多様校

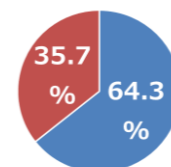
2. 昨年度の志望学問分野の変化（一昨年度との比較）

Q. 貴校の昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と一昨年の高校3年生（2021年3月卒業）を比較して【志望学問分野】の傾向が変化していれば、要因を含め教えてください。

（例）世間の話題の高まりを見て、AI・IoT 関連を学びたい生徒が増えている印象。

■「特になし」などの回答割合

回答者 595 名中、「わからない」「不明」に類する回答 82 件を除く 513 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 330 件。（513 件中の 64.3%）。



■変化なし ■変化あり

■その他の声（※進路指導担当者の声のみ抜粋）

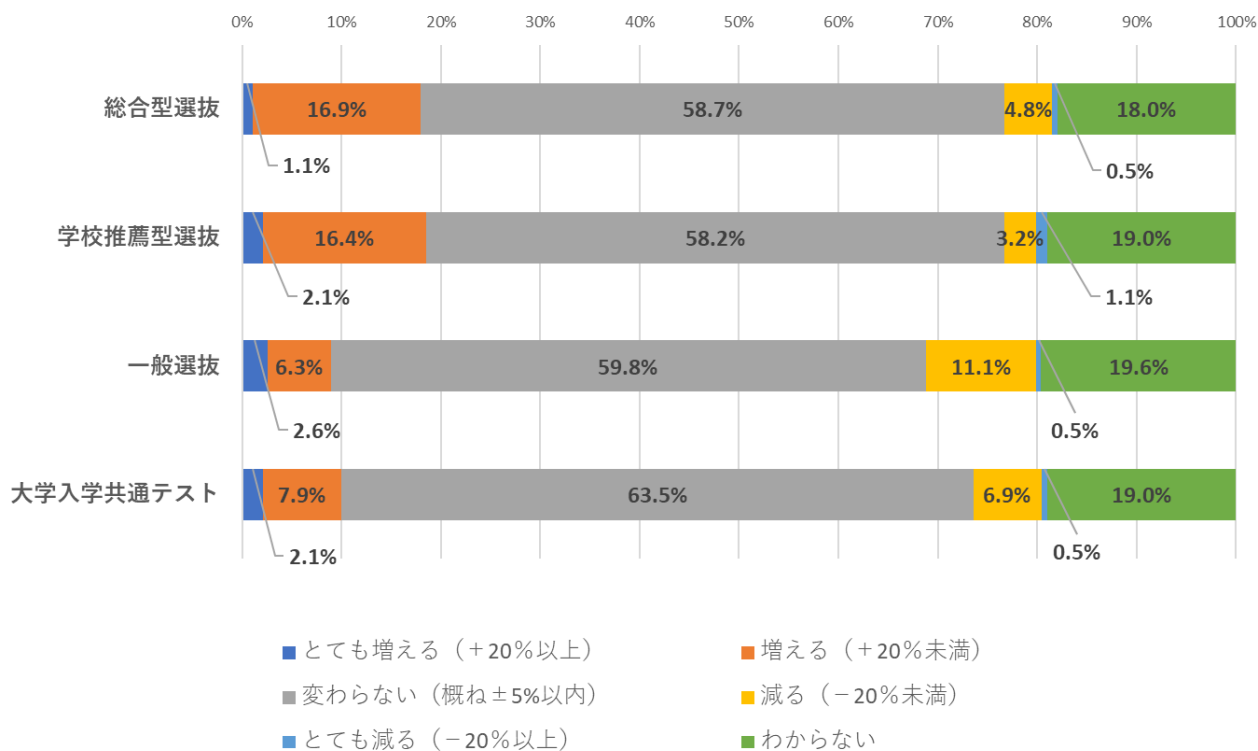
回答	全/定/通	高校エリア	主要進路
最近、金融関係を希望する生徒が増えた	全日制	関東	進路多様校
経済不安から経済学への進学率が増えた	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)
世間の流れから金融に関心を持つ生徒が増えている印象	全日制	中国	短大・専門・就職メイン校
コロナの影響で医療系や公務員志望者が増えている	全日制	北海道	短大・専門・就職メイン校
将来のことを考えて医歯薬系学部を志望する学生が増えた	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)
看護医療系が増加した。保護者からのアプローチが多い気がする。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)
看護志望が増えた。コロナ禍で医療従事者が求められているからかもしれない	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校
手に職を求めて、資格取得、とくに医療系が多くなっている。	定時制	関西	短大・専門・就職メイン校
コロナ禍の影響で国際系の学部が敬遠気味で、公務員狙いの法学部志向が増えている印象がある。	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)
コロナ禍の影響があり、海外留学が不可能なため、国際関係の学部への志望は減っている。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)
国際関係を希望する生徒が若干増えた。コロナが落ち着きを見せたためかと考えられる。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)
国際系が一般的に減少傾向も、今年度は元に戻ると思います。それ以外は理系の女子が増加傾向です。	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)
コロナの影響か、外国語学部の志望者が減っている気がする	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)
より、手に職がつく、学部への進学が増えた。作業療法士など	全日制	東海	進路多様校
資格が得られる学部が人気である	全日制	東海	進路多様校
データサイエンス志望者の増加。	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)
情報化社会の影響を受け、情報系学部の人気を感じます。	全日制	関東	進路多様校
特に変化は感じられないが、情報分野の倍率が高いので、少し忌避傾向にある	全日制	東海	進学校(ほぼ大学)
デジタル系に進む生徒が多い気がする	全日制	関西	進路多様校
世間の関心が高まり、バイオテクノロジーやAIの技術について学びたい生徒が増えたという印象。	全日制	中国	進学校(ほぼ大学)
情報系を希望する生徒が増えた印象。	通信制	関東	進路多様校
コロナ禍により情報系への進学、手に職をつける専門学校（特に美容系や医療系）への進学が増えた。	通信制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
情報系の分野に興味のある学生が増えている	定時制	関西	短大・専門・就職メイン校
理系への進学希望者が一時より減っている。そこまでリケジョなどが持ち上げられなくなったためか	全日制	東海	進学校(ほぼ大学)
理工学部が増えた。就職に有利なので。	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)
難関校にチャレンジする生徒がいなくなり、入学できる大学ならどこでも行くという風潮になっている。	全日制	関西	進路多様校
課外でプログラミングを学習する生徒もおり、従来の学校教育では推し量れない学問の道に進む生徒が少しずつ増加している印象。	全日制	中国	進学校(ほぼ大学)
これまでは無難な経済や商学部などを希望する生徒がいたが、専門的な分野を希望する傾向にある。理由としては大手企業などが終身雇用が今後難しいと宣言していることや保護者の希望がある	通信制	東海	進路多様校

3. 受験人数の変化予想（昨年度との比較）

Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

※いずれも「全日制高校教員」「高校3年生担当」の回答のみを集計

※いずれのグラフも N 数=189



(次ページへ続く)

実際の声（※進路指導担当以外の声も掲載）（※全日制のみ）（※高校3年生担当のみ）

【総合型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
増える	経済的な問題が影響しているのか、早めの受験志向が好まれている。	関東	進学校(短大・専門含む)
増える	早く決めて安心したいという希望が保護者にも本人にも増えているから？	関東	進学校(短大・専門含む)
増える	その大学・学部を志望する強い動機と意欲を持つ生徒が、多い印象があるからです。	関東	進路多様校
増える	積極的に受けるように指導しているから。	東海	進学校(短大・専門含む)
増える	大学がAOの機会を増やしているのでこれからの受験スタイルもAOが増えてくると思う	東海	進路多様校
増える	年内に決めたく学力試験を伴わない試験を受けたいと考える生徒が増えると思われるから	関西	進学校(短大・専門含む)
増える	受かりやすいと勘違いしている。	関西	進路多様校
増える	一芸に優れた生徒が昨年度より多い気がするから。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校
変わらない	昨年で結構増えたので、ここからさらに大きくは増えないと思われる	関東	進学校(ほぼ大学)
変わらない	すでに傾向が出来上がりつつあると思う	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	かなり定着してきている	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	今年度の進路希望調査を見て昨年度と傾向がほぼ変わらないから。	関東	進路多様校
変わらない	現時点での志望調査結果から判断した	北陸	短大・専門・就職メイン校
変わらない	これ以上増えない。教員側も基本的に一般入試で合格するための補習等を行っているので。	東海	進学校(短大・専門含む)
減る	入試が難しくなると考えられるから。	関西	進学校(ほぼ大学)
変わらない	以前と比べると増加してあるが、昨年比では微増程度。	中国	進学校(ほぼ大学)
変わらない	進路指導の方針が変わるとは思わないから。	中国	短大・専門・就職メイン校
減る	負担が大きい	東北	進学校(短大・専門含む)
減る	指定校を利用する生徒が多いから	甲信越	短大・専門・就職メイン校
減る	材料がある生徒が少ないので。	東海	進学校(短大・専門含む)

【学校推薦型選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とても増える	学力不足と過保護	東北	進学校(短大・専門含む)
増える	コロナの影響で学校推薦型選抜希望者が増えました。	関東	進学校(ほぼ大学)
増える	経済的に厳しいものが多く、受験機会を少なくしたい家庭が、多いと聞く機会が多々ある。	関東	進学校(短大・専門含む)
増える	安全志向が強まっている	関東	進学校(短大・専門含む)
増える	負担が少ないので増えると思う	甲信越	短大・専門・就職メイン校
増える	学校から求められる評定値が下がった学校や募集人数が増えた学校が何校かあったため	東海	短大・専門・就職メイン校
増える	沢山の教科を勉強したくないから	九州・沖縄	進路多様校
変わらない	学校推薦型はある程度枠が決まっているので、あまり変化しない。	関東	進学校(ほぼ大学)
変わらない	生徒側から要望のでる、行きたいという学校学部からの推薦の数は変わらないから。	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	受験状況の動向に影響を及ぼすほどの社会的な変化はなかったと思う。	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	進路希望調査の結果を見てほぼ同じなため。	関東	進路多様校
変わらない	進路希望調査の結果	関東	短大・専門・就職メイン校
変わらない	学校の指定校枠に変更がないので、変わりません	東海	進路多様校
変わらない	受験生を取り巻く状況は昨年と変わっているとは思えない	東海	進路多様校
変わらない	ここ数年各大学の指定校推薦に変化がないから	東海	進路多様校
変わらない	併願だと勝負できないから	関西	短大・専門・就職メイン校
変わらない	引き続きコロナ禍で学力に自信が持てない生徒が多い	中国	進学校(短大・専門含む)
減る	学校推薦型選抜の基準が厳しくなっている。	関東	進路多様校
減る	大学が枠を減らしていきだろうから。	関西	進学校(ほぼ大学)
とても減る	成績がわるいから	関東	進学校(ほぼ大学)

実際の声（※進路指導担当以外の声も掲載）（※全日制のみ）（※高校3年生担当のみ）（続き）

【一般選抜】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とも増える	進学して学びたいことがある子が増えたから。	中国	進学校(ほぼ大学)
増える	私立大学志望の生徒が増えたため、一般入試で受験する生徒が増える	関東	進学校(ほぼ大学)
増える	一般受験を推奨しているから。	関東	進学校(短大・専門含む)
増える	年内入試にチャレンジできない生徒が多いため。	東海	進学校(短大・専門含む)
増える	1人当たりの受験校の数が増えると思います。	関西	進学校(ほぼ大学)
変わらない	一般選抜で合格するだけの学力を有している生徒が例年並みだから	北海道	短大・専門・就職メイン校
変わらない	指導方針が浸透したため	東北	進学校(短大・専門含む)
変わらない	昨年と比べて大きな傾向の違いにはならないのではないか。	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	元々の数が多くなく、早期から準備をしている生徒の割合も変わったように見えないから。	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	推薦できず、総合で不合格の生徒しか受験しないから。	甲信越	進路多様校
変わらない	優秀な生徒は最後まで頑張ると思うので	関西	進学校(短大・専門含む)
変わらない	最後まで粘るよう指導する	関西	短大・専門・就職メイン校
変わらない	状況が変化していない	北陸	進路多様校
変わらない	例年の数から傾向を考えると、あまり大きく変化しそうにないから。	中国	進学校(短大・専門含む)
減る	一般入試では勝負できないから。	東北	短大・専門・就職メイン校
減る	受験を避け、推薦を志向する生徒が増えている	関東	進学校(短大・専門含む)
減る	チャレンジしないで、安全に進学をするパターンが多そう。	関東	進学校(短大・専門含む)
減る	総合型や推薦型などへ変わっていくと予測	関東	進学校(短大・専門含む)
減る	安全思考が強いから	東海	進路多様校
減る	実力不足が多いから。	四国	進路多様校

【大学入学共通テスト】

回答	要因	高校エリア	主要進路
とも増える	受験する生徒の数が増えるから。	中国	進学校(ほぼ大学)
増える	例年より大学進学希望者が多いから	北海道	短大・専門・就職メイン校
増える	コロナの影響で大学入学共通テスト受験者が増えました。	関東	進学校(ほぼ大学)
増える	大学入学共通テストを課す大学を受験する生徒が増えることが、見込まれるからです。	関東	進路多様校
増える	私立大学の利用増加	甲信越	進学校(短大・専門含む)
増える	とりあえずの受験生が増えるかもしれない	甲信越	短大・専門・就職メイン校
変わらない	進学者には受験させているから。	東北	短大・専門・就職メイン校
変わらない	1年以内でそれほど大きな変化があるとは思わない	関東	進学校(短大・専門含む)
変わらない	学力がそれほど高くないので	関東	進路多様校
変わらない	昨年と状況は変わっていない、生徒の学力、向上心は低いまま	関東	進路多様校
変わらない	全体の傾向が変わらないと思うので、共通テストを受ける人数も変わらないと思う。	甲信越	短大・専門・就職メイン校
変わらない	大学進学する者には受験させている。	東海	進学校(短大・専門含む)
変わらない	変わらないように指導する	東海	進学校(短大・専門含む)
変わらない	総合型選抜、学校型推薦選抜での進学者にも共通テスト受験を課しているため	東海	進路多様校
変わらない	増えるとは思いますが、大きな変化ではないと思われます。	関西	進学校(ほぼ大学)
減る	今年は、総合選抜の子が増えると感じている	関東	進学校(短大・専門含む)
減る	総合型や推薦型へシフトすると予想している	関東	進学校(短大・専門含む)
減る	昨年度が難しかったから	関西	進学校(ほぼ大学)
減る	昨年度の共通テスト難化を受けて。	九州・沖縄	進路多様校
減る	共通テストを避ける傾向が増えた。	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校

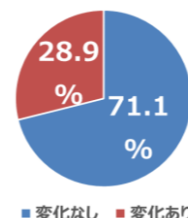
4. 志望学問分野の変化（昨年度との比較）

Q. あなたが主に指導している学年と昨年の高校3年生（2022年3月卒業）を比較して【志望学問分野】の傾向が変化しそうであれば、要因を含め教えてください。

（例）円安やウクライナ情勢といった不安ムードを受けて、就職に強いイメージから理系学部人気が高まりそう。

■「特になし」などの回答割合

回答者 595 名中、「わからない」「不明」に類する回答 93 件を除く 502 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 357 件。（502 件中の 71.1%）。



■その他の声（※進路指導担当以外の声も掲載）

回答	全/定/通	高校エリア	主要進路	担当学年
コロナ禍を受けて、安定した職業につながる資格を取得できる学部が人気になりそう。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	2年生
不景気のため安定した職を求めて公務員志望者が増え、文系人気が出てくる	全日制	東海	進学校(ほほ大学)	3年生
不景気をうけ、安定を求める生徒が多くなった。看護や保育、教育などの資格が取得できる学部や、公務員を目指すために学部を選択する生徒が増えてくると思う。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	2年生
手に職をつけるための進学先を希望する生徒が多い。保育士、作業療法士、栄養士など。	全日制	東海	進路多様校	1年生
安定した職業に就くことが重視されてきている。そこを見据えた進学先を選ぶのではないかとと思われる	定時制	関西	進路多様校	3年生
手に職をつけたいと考える安定思考が強まっているため、医歯薬系学部の人気が高まりそう	全日制	関東	進学校(ほほ大学)	3年生
確実に仕事に繋がらそう、理学療法士になれるとか、そういう医療系ではあるが、医学部でないところに行く子が文系の中からも出てきそう。AOでもそうしたところへの希望が増えていた。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
新潟県の医師不足を踏まえ、医学部志望が増えている。	全日制	甲信越	進学校(ほほ大学)	その他
コロナの影響で、職にあぶれにくい看護師や薬剤師等の医療系が人気傾向がある。	全日制	関西	進学校(ほほ大学)	3年生
手に職を求めて、医療系が増えつつある。	定時制	関西	短大・専門・就職メイン校	3年生
経済系、医療系人気	全日制	東北	進学校(短大・専門含む)	3年生
スタグフレーション、円安など経済の変化に興味を持ち、経済学部を志望する生徒が増えそう	全日制	東海	進学校(ほほ大学)	3年生
ウクライナ情勢から経済学への志望が増えそう	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	3年生
世界経済や世界情勢を踏まえて、就職に強い商学科や理系学部の人気が高まっている。	全日制	中国	進学校(ほほ大学)	3年生
物価上昇・円安と不安定な情勢なので就職に強い実務的な学部の人気が高まりそう。資格とセットでその学校＝その職業のような掛けたコストと就職後のリターンが計算しやすい実務的な学校の人気が高まる。	全日制	中国	短大・専門・就職メイン校	2年生
コロナ禍の影響で国際系は減り、公務員狙いの法学部系が増える。	全日制	関東	進学校(ほほ大学)	3年生
コロナが落ち着いたことをうけて、国際関係や観光系を志す生徒が増えた	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	3年生
外国語や国際系はやはり減りそう	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	3年生
幼少期から情報機器を使用していることもあり、情報系を志望する生徒が多くなると思う。	全日制	北海道	短大・専門・就職メイン校	3年生
データサイエンスに興味を持つ学生も増えている	全日制	関東	進学校(ほほ大学)	1年生
YouTubeなどへの憧れから、パソコンの専門学校が増えそう	全日制	関西	短大・専門・就職メイン校	2年生
文部科学省の方針の影響を受けてなのか、プログラミングなどICT系に関心を持つ生徒が増えた。	通信制	東海	進路多様校	3年生
これからの経済状況を踏まえると、就職を考えて、工学部の志望者が多くなりそう。	全日制	九州・沖縄	進学校(ほほ大学)	2年生
進学に対する「希望や展望」が徐々に欠如してきている。先の人生に対する展望がしにくくなっている	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	2年生
学費の安い文系が増えそう	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	1年生
深く考えられないので、社会の状況で主体的に変化することはほほない	全日制	関西	短大・専門・就職メイン校	2年生
これからの脱炭素社会に向けて専門性が高まりそう	通信制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
新型コロナウイルスの関係上、何をしてもやる気のない生徒が多くなった。進路についても全く考える気が保護者も含めてわかない傾向にある。共通して家庭での問題がそうさせている傾向が強い。	通信制	関西	進路多様校	3年生

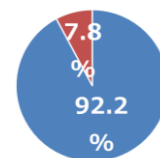
5. 進路検討状況（コロナ前との比較）

Q. あなたが主に指導している学年の**現在の進路検討状況**は、コロナ発生以前（2020年3月まで）と比較してどのような違いがありますか。要因も含め教えてください。

（例）情報収集の機会が減ったため、現時点でも何が学びたいか定まっていない生徒が多い。

■「特になし」などの回答割合

回答者 595 名中、「わからない」「不明」に類する回答 71 件を除く 524 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 483 件。（524 件中の 92.2%）。



■変化なし ■変化あり

■その他の声（※進路指導担当以外の声も掲載）

回答	全/定/通	高校エリア	主要進路	担当学年
コロナの影響でオープンキャンパスに行けないので、志望校選択に悩んでいる生徒が多い	全日制	北海道	短大・専門・就職メイン校	3年生
オープンキャンパスに行けずオンラインでの参加になる場合も多く、志望大学や学部を決めにくい状況。	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	3年生
オープンキャンパス等大学の雰囲気を感じることが減り、イメージがつきにくいと感じる生徒が多い	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	3年生
大学に足を運ぶことができていないので、雰囲気などの実感を掴むことができていない。そのため、まだ第一希望といった明確な目標を定めるところには至っていない。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	2年生
オープンキャンパスに行けないので安全志向	全日制	関東	進路多様校	3年生
オープンキャンパスなど、受験前に大学を直接見たり、直接大学で話を聞く機会が減っていることもあり、生徒個々の「この大学でなければ」という意識が低下している	全日制	関東	進路多様校	3年生
多くのオープンキャンパスが事前予約制になり、思うように参加できず困っている生徒が多いと感じる。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	2年生
体験学習の機会が減ったため、何を学びたいか決まっている生徒が少ない。	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	1年生
オープンキャンパス等復活してくる大学が出てきているので、以前の状況に戻りつつあるか。	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)	1年生
進路関係のイベントが減ったため、志望理由書に書くことが少なくなった。	全日制	中国	進学校(短大・専門含む)	1年生
オープンキャンパスや学校説明会が無くなったりオンラインになったりしたので、進路決定に対するスイッチが入らずギリギリになるまでダラダラしている生徒が増えた印象。	全日制	中国	短大・専門・就職メイン校	2年生
2、3年次の科目選択をする際の情報収集ができていないため、進路もなかなか定まらない。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	2年生
現段階で進路が深まっていない生徒が多い。オンデマンド中心の情報収集だったため。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	3年生
求人数の変化が大きく、ギリギリまで就職か進学か悩む生徒が増えた	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	3年生
海外留学も再開され始めたので、留学できる学部を選ぶのが慎重になっている生徒が例年より多い。	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)	3年生
コロナの休校で学力が下がっており進路の目処が立ちにくい	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)	2年生
コロナの不安から就職より進学を志す生徒がほとんどだが、学びたい分野や志望校について未定も多い。	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	2年生
コロナ影響で説明会がなくなったとは聞かない。今はSNSでも情報収集できるので、そこまで変わらない	全日制	東海	進路多様校	2年生
将来を見据えた生徒と全く意識をしていない生徒の二極化が進んでいる印象。	全日制	中国	進学校(ほぼ大学)	3年生
進路を早く決めたい傾向がある。	全日制	関東	進路多様校	3年生
制限された環境下が逆に意欲的に進路実現に向けて行動するようになった	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	3年生
選択が早まっている、地元志向がよくなっている	全日制	九州・沖縄	進学校(ほぼ大学)	1年生
やりたいこととやったほうがいいことの折り合いがつかない様子なども見受けられる。ただ、オンラインで学校見学や説明会に参加できるようになったので情報収集することに対するハードルは下がったよう。	通信制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	3年生
大学のコロナ対応も受験を決める際の検討材料になっているように感じる。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
大学でも休校やリモート授業が続いたため、キャンパスライフに楽しさを感じている生徒が減っている。	全日制	東海	進学校(ほぼ大学)	3年生

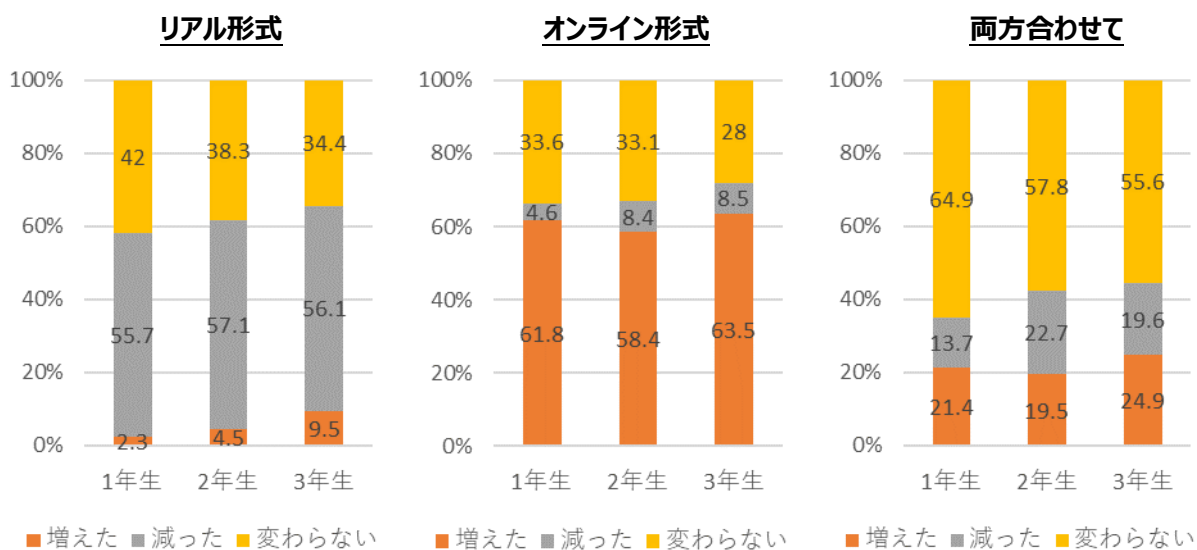
6. オープンキャンパス参加状況（コロナ前との比較、昨年度との比較）

Q. あなたが主に指導している学年のオープンキャンパス参加校数は、コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて変化しましたか。また、昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて変化しましたか。

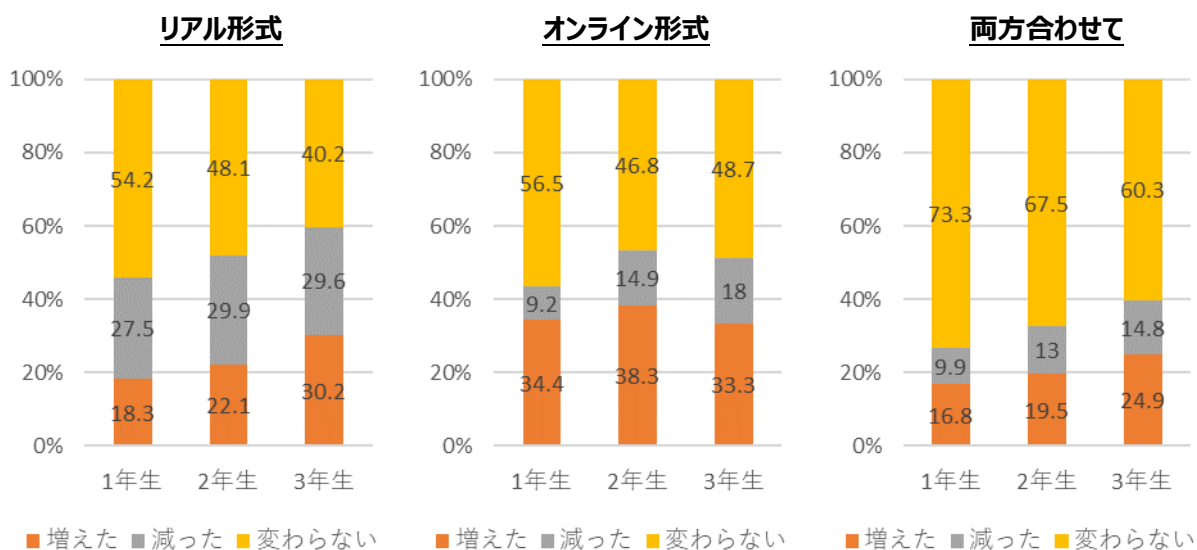
※いずれも「全日制高校教員」の回答のみを集計

※いずれのグラフもN数は高校1年生担当 = 131人、高校2年生担当 = 154人、高校3年生担当 = 189人

【コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて】



【昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて】



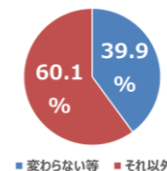
7. 志望校選びの傾向

Q. あなたが主に指導している学年の【大学・短期大学】志望校選びの傾向について教えてください。また、考えられる要因があればそれも含めて教えてください。

(例) 地元志向性がやや緩和され、県外の学校も見られるようになっている。

■「特になし」などの回答割合

回答者 595 名中、「わからない」「不明」に類する回答 79 件を除く 516 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 206 件。(516 件中の 39.9%)。



■その他の声（※進路指導担当以外の声も掲載）

回答	全/定/通	高校エリア	主要進路	担当学年
親の我儘に流され自分の本来の目標をあきらめる生徒が増えています	全日制	東北	進学校(短大・専門含む)	3年生
難関国立大学に浪人してまで行く生徒が減っている	全日制	関東	進学校(ほほ大学)	3年生
現役志向が強まっている感じはする	全日制	東海	進学校(ほほ大学)	2年生
安定志向を求める生徒が多くなっている。保護者会で、保護者もまた同じ意見であることが確認された。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	2年生
人気の学部ではなく不人気の学部の偏差値が低いところを狙う傾向にある	全日制	関西	進学校(ほほ大学)	3年生
落ちることを警戒して、弱気な選択をしている	全日制	関西	進路多様校	3年生
お金のかからない進学先を選ぶ人が多い	定時制	関西	短大・専門・就職メイン校	1年生
首都圏志向がつよい	全日制	東北	進学校(ほほ大学)	3年生
地元志向が少ない気がしている。出願前の最後の最後には地元に向く可能性はある。	全日制	北陸	進学校(ほほ大学)	3年生
コロナ感染を警戒する空気が若干緩み、他府県の学校にも関心を示す生徒が増えていると思う。	全日制	関西	進路多様校	1年生
地方の子は都会に出て仕事がしたい為、県外の学校に行くようになっている。	全日制	中国	進学校(ほほ大学)	3年生
コロナの感染者数が減少することもないので、諦めの思いか思い切って県外への進学志望も抵抗を感じていない気がする。	全日制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	その他
オンライン授業が増えているので遠方の学校でも自宅から通えるのではないかと考える生徒が増えている	全日制	北海道	進学校(短大・専門含む)	3年生
道内から出る生徒はあまりいない	全日制	北海道	短大・専門・就職メイン校	3年生
地元志向が強い。あまり県外に出ようとしなない。	全日制	東北	短大・専門・就職メイン校	3年生
首都圏の女子校なので、自宅から通える範囲で選ぶ家庭が多い。家庭、塾の影響を受けやすい生徒も多い	全日制	関東	進学校(ほほ大学)	3年生
都市部への意識より地元意識が強くなっている	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
学費や生活費を考えて近場の進学などが少し増えた	全日制	甲信越	短大・専門・就職メイン校	3年生
地元志向が強い傾向に変化はなく、早期に合格、進学先を決めたいと考える生徒が多い。	全日制	北陸	短大・専門・就職メイン校	3年生
なんとなく似たような地元の国公立大学を好む	全日制	東海	進学校(ほほ大学)	3年生
地元志向強し	全日制	九州・沖縄	進学校(ほほ大学)	1年生
女子生徒は県内志向。本人は県外に出たいが保護者が心配して出さない場合が多い。	全日制	九州・沖縄	進路多様校	3年生
コロナ以前、以後ともに地元志向が強い。	全日制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	3年生
地元優先の意識が高まっているので都会の大学より地方の大学の勢いがありそう	通信制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
都内への進学には消極的で、通学時間が1時間以内の学校を候補に挙げる傾向がある。	通信制	関東	進路多様校	2年生
県内進学の傾向が強い	通信制	甲信越	短大・専門・就職メイン校	3年生
比較的推薦で合格しやすい、県内もしくは近県の私立が多い	通信制	四国	短大・専門・就職メイン校	3年生
地元で学費の安いところを志望している	定時制	関西	短大・専門・就職メイン校	2年生
国公立は全国、私立は関西の難関校を変わらず選ぶと思う。	全日制	関西	進学校(ほほ大学)	3年生
先輩の進学先に行きたいという生徒が多く、全体として同じような傾向にある。	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	1年生

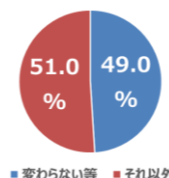
7. 志望校選びの傾向（続き）

Q.あなたが主に指導している学年の【専門学校】志望校選びの傾向について教えてください。また、考えられる要因があればそれも含めて教えてください。

（例）コロナ禍での収入減が影響し、大学志望から専門学校志望へ切り替えた生徒もいる。

■「特になし」などの回答割合

回答者 595 名中、「不明」「専門進学実績なし」に類する回答 142 件を除く 453 件のうち、「特になし」「変わらない」「例年通り」に類する回答は 222 件。（453 件中の 92.2%）。



■その他の声（※進路指導担当以外の声も掲載）

回答	全/定/通	高校エリア	主要進路	担当学年
やりたいことが決まっている生徒は、学校選びも早い	全日制	北海道	進学校(短大・専門含む)	1年生
趣味を延長する様な専門学校を選ぶ生徒が増えてきている。	全日制	北海道	短大・専門・就職メイン校	3年生
生徒それぞれの興味から選んでいる	定時制	関東	短大・専門・就職メイン校	3年生
経済的理由により、大学から専門学校へ、志望校を変える生徒も見受けられます。	全日制	関東	進路多様校	3年生
事務系は学費が安いので増えた	全日制	甲信越	短大・専門・就職メイン校	3年生
奨学金希望者が増えた	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	3年生
奨学金制度が整っているところを考えている生徒が増えてきていると感じる。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	2年生
学費などの経済的負担がないように専門学校に志望する生徒が微増	全日制	関西	進路多様校	3年生
専門的知識を学びたい為、大学志望から専門学校志望へ切り替える生徒も多々いる。	全日制	中国	進学校(ほぼ大学)	3年生
奨学金を利用する生徒が多くなった	全日制	中国	短大・専門・就職メイン校	3年生
収入減が影響し、専門学校へと切り替えが多い	全日制	四国	進学校(短大・専門含む)	1年生
地元や隣県への進学を希望する子が増えた	全日制	東北	進路多様校	2年生
コロナ禍により県外の大学というよりは、地元の専門学校を志望する生徒がいる。	全日制	関東	短大・専門・就職メイン校	1年生
家庭の学費の工面が厳しいのか、県外でのコロナ感染の心配からか、地元専門学校への志望者が増えているようである、	全日制	北陸	短大・専門・就職メイン校	2年生
公務員試験を意識するなら専門はあり	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	2年生
公務員一択なら、むしろ専門学校のほうが有利	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	2年生
働きたくないから進学するという生徒が多いと感じる。	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	3年生
就職が先延ばしにできるように大学の割合が増え、専門学校が減った	全日制	四国	進学校(ほぼ大学)	2年生
就職するのは不安だからと専門学校を受ける生徒が増えた。	通信制	東海	進路多様校	3年生
コロナでの収入減が影響し、就職を希望する生徒が増えた。	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	1年生
看護師を目指している生徒が専門学校を目指すようになった。	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)	2年生
看護医療系や教育系など資格を取得できるものが選ばれる	全日制	関西	短大・専門・就職メイン校	2年生
大学を出ても将来が見えないことから、確実に技術を身につけられる専門学校を選ぶ生徒がいる。	通信制	関東	進路多様校	1年生
看護師、保育士など国家資格養成の学校が人気	通信制	甲信越	短大・専門・就職メイン校	3年生
今はどの企業でもプログラミングやITに尽力している現状なので大学志望から専門志望になる生徒が多い	通信制	東海	進路多様校	2年生
経済的な問題が影響しているのか、早めの進路確定が求められているように感じられる。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
早く進路を決めたく、安易に選んでいる	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	1年生
マネーリテラシーや将来の考えがしっかりした生徒が、専門を希望する割合が高い。	全日制	東北	進学校(短大・専門含む)	2年生
対面中心の職業に関する分野の人気は下がっている印象	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
専門学校を決められるほど、目標が決まってないのであまりいいかない	全日制	関西	短大・専門・就職メイン校	2年生

8. 進路指導計画

Q. あなたが主に指導している学年に対する**進路指導の方針**を教えてください。

(例)「〇月までに志望校を決めさせる予定」「一般選抜での受験を増やす」など

■ 実際の声 (※進路指導担当者の声のみ抜粋)

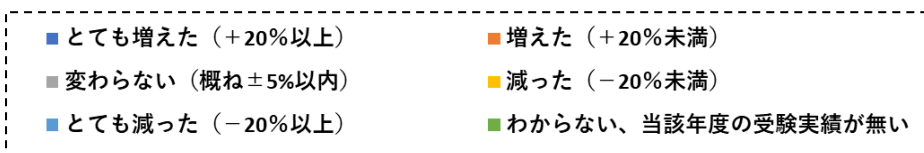
回答	全/定/通	高校エリア	主要進路	担当学年
冬までに志望校を決定させる予定。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	2年生
2年生末までに進路未定者10%以内	全日制	東北	進路多様校	2年生
2年終了までに志望校を決定させる	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	3年生
3月までには志望校をある程度絞らせる	全日制	関東	短大・専門・就職メイン校	2年生
3月までに志望校を決めるように指導する予定。	全日制	関西	進学校(短大・専門含む)	2年生
2年の最後に三者面談をしてほぼ進路を決定するが、本人と進路先のマッチングを重視している。	定時制	関西	短大・専門・就職メイン校	3年生
6月中に進路希望を決定する	全日制	関東	短大・専門・就職メイン校	3年生
6月末に校長宛志望表明票を提出させる。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	3年生
7月中に志望校を仮決定	全日制	甲信越	進学校(短大・専門含む)	3年生
どんなに遅くとも、一学期中には明確な志望先を決め、可能であれば学校推薦を得て万が一のことを考えて受験に臨むようにすること。	全日制	九州・沖縄	短大・専門・就職メイン校	その他
7月まで志望校確定	通信制	東北	進路多様校	3年生
8月終了までに志望校をきめさせる。 その際、落ちた場合どうするのかを確認する。	全日制	関西	進路多様校	3年生
8月までに志望校の決定することを促す	通信制	関東	短大・専門・就職メイン校	その他
9月までに志望校を決めさせる	全日制	東海	短大・専門・就職メイン校	3年生
10月までには決めるか	全日制	東北	進路多様校	2年生
高い志をもち、二年生の秋頃に第一志望宣言を実施する。	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	3年生
上位高を狙うのではなく、手堅く受験する	全日制	中国	進学校(短大・専門含む)	3年生
一般受験での志望校を増やす。	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
学年ではなく学校の方針として、一般入試での進学をすすめていく	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	2年生
まずは共通テストまでがんばらせること	全日制	東海	進学校(ほぼ大学)	3年生
一般選抜での受験者増	全日制	中国	進路多様校	3年生
推薦という選択肢はないわけではないが、一般受験での合格を目指させている	全日制	九州・沖縄	進学校(ほぼ大学)	3年生
一般受験に回したいが、保護者ともども早めに決めたい意識が強くなってる年内に決めていきたい	全日制	関東	進学校(短大・専門含む)	3年生
一般選抜はなるべく避けて、決められる生徒は早く決めるようにしている	全日制	甲信越	短大・専門・就職メイン校	3年生
積極的に県外の国公立を受験させる。総合型選抜の受験を増やす。	全日制	東海	進学校(短大・専門含む)	3年生
推薦はあくまでもチャンスの一部だと考えさせる	全日制	中国	進学校(短大・専門含む)	1年生
年内で8割決定	通信制	関東	短大・専門・就職メイン校	3年生
あくまで本人の意思を尊重したうえで、面談を増やし志望動機を固める	全日制	関東	進学校(ほぼ大学)	2年生
本人の希望と能力や適性をマッチングさせる	全日制	東海	進路多様校	2年生
理系は地方国公立を視野に入れて検討する	全日制	関西	進学校(ほぼ大学)	3年生

10. APPENDIX

10-1. 昨年度の受験人数の変化（一昨年度との比較） — 主要進路別 —

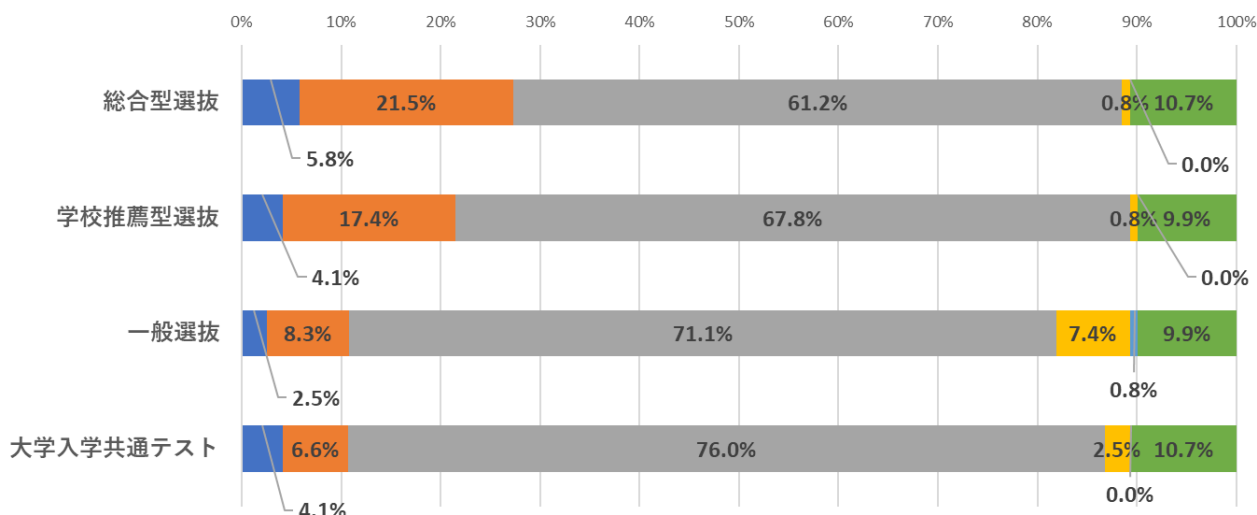
Q. 貴校の昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と一昨年の高校3年生（2021年3月卒業）を比較して【各選抜方式】の受験人数の変化を教えてください。

▼下記の帯グラフ共通の凡例

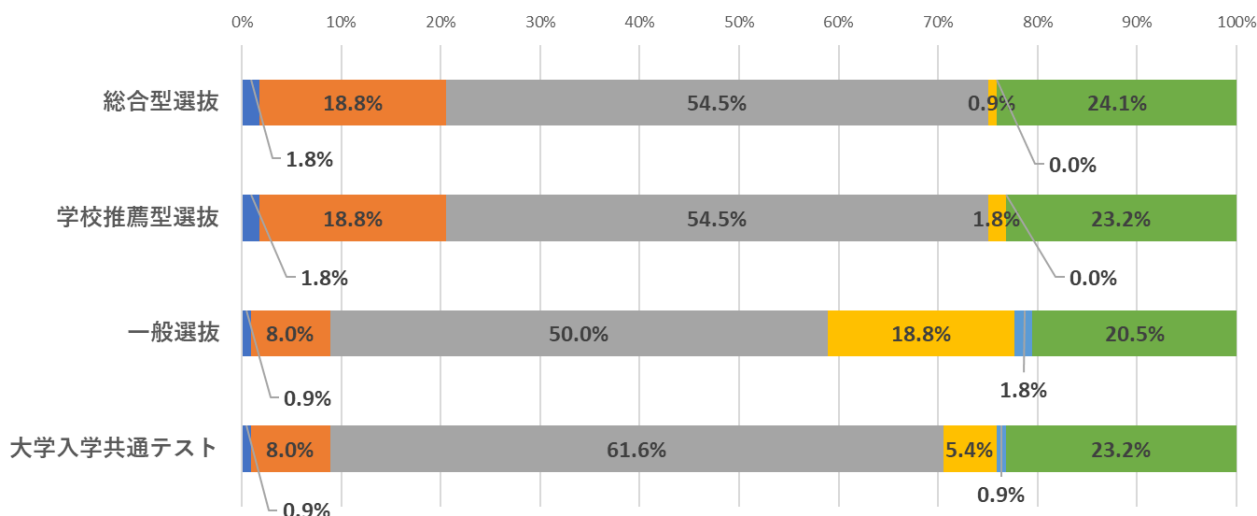


※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N数=121）



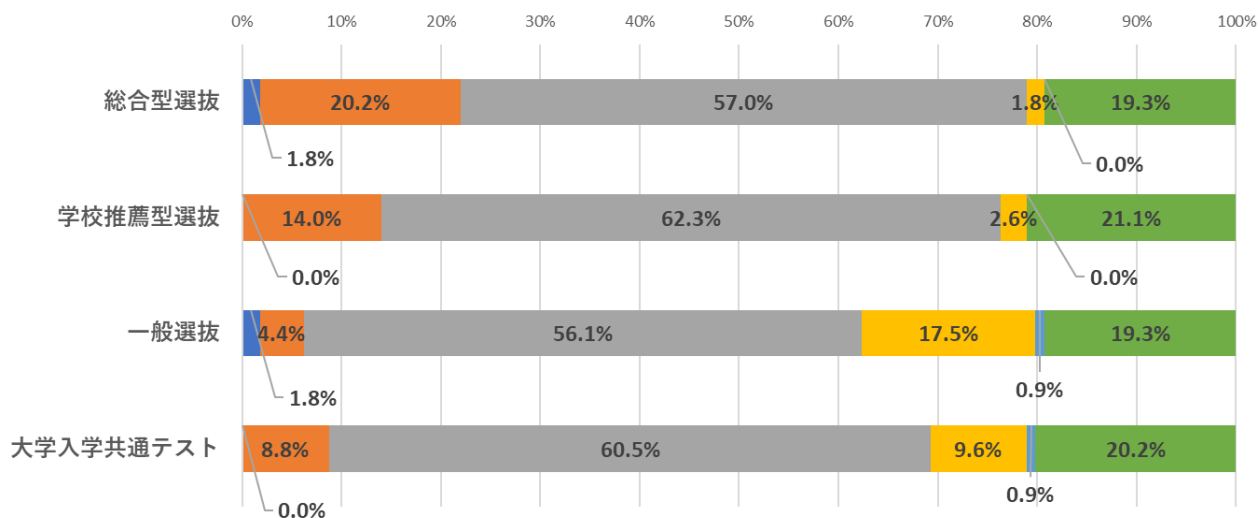
「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N数=112）



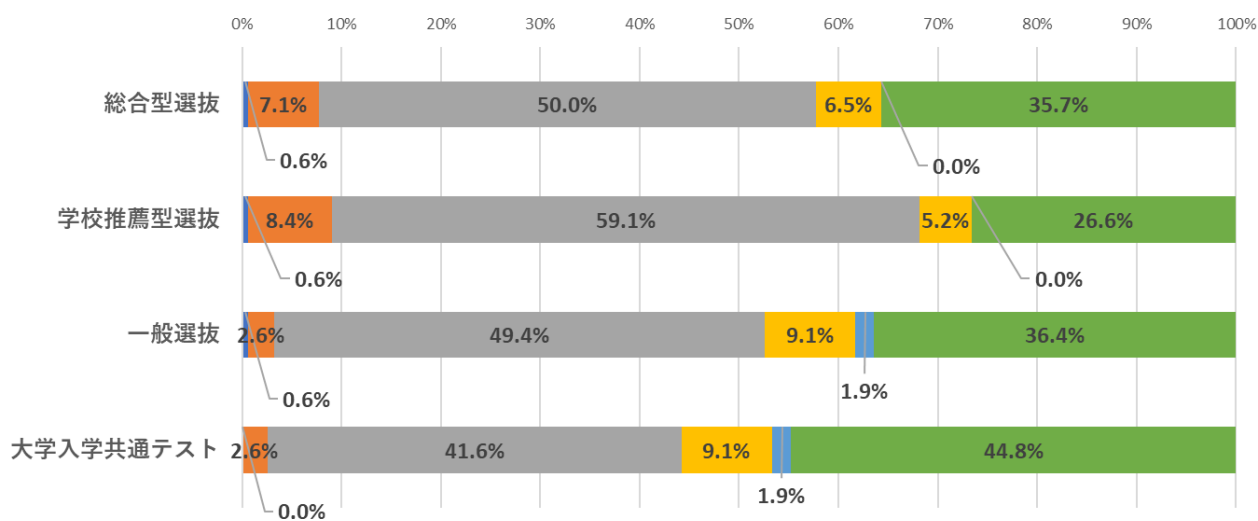
10. APPENDIX

10-1. 昨年度の受験人数の変化（一昨年度との比較） — 主要進路別 — （続き）

「進路多様校」のみを集計（N数 = 114）



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計（N数 = 154）



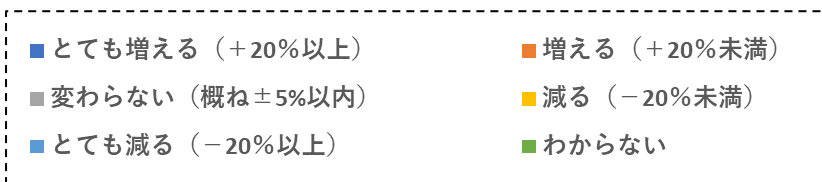
(次ページへ続く)

10. APPENDIX

10-3. 受験人数の変化予想（昨年度との比較） — 主要進路別 —

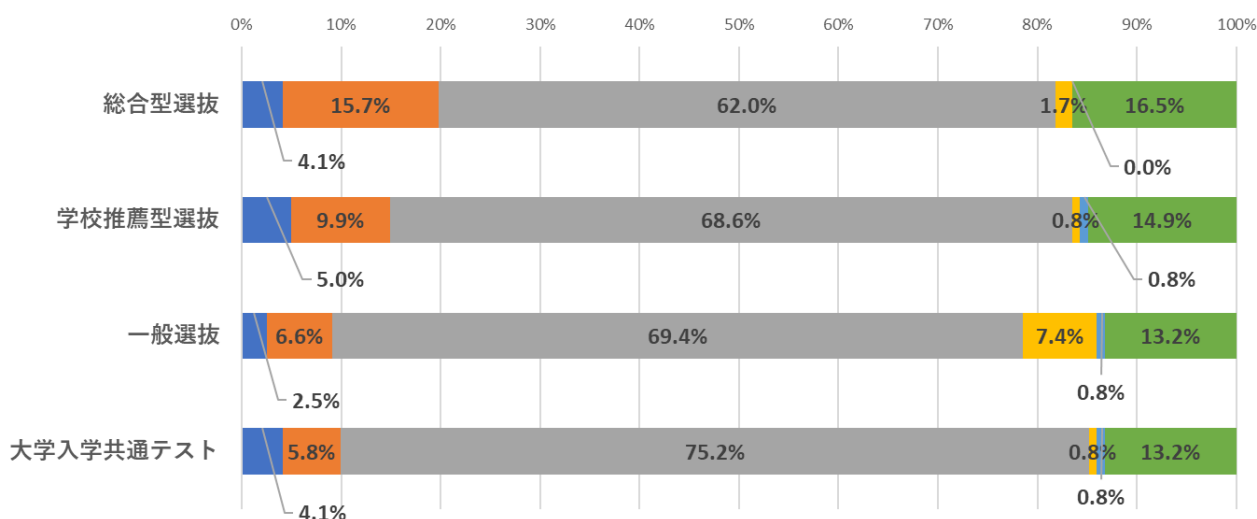
Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

▼下記の帯グラフ共通の凡例

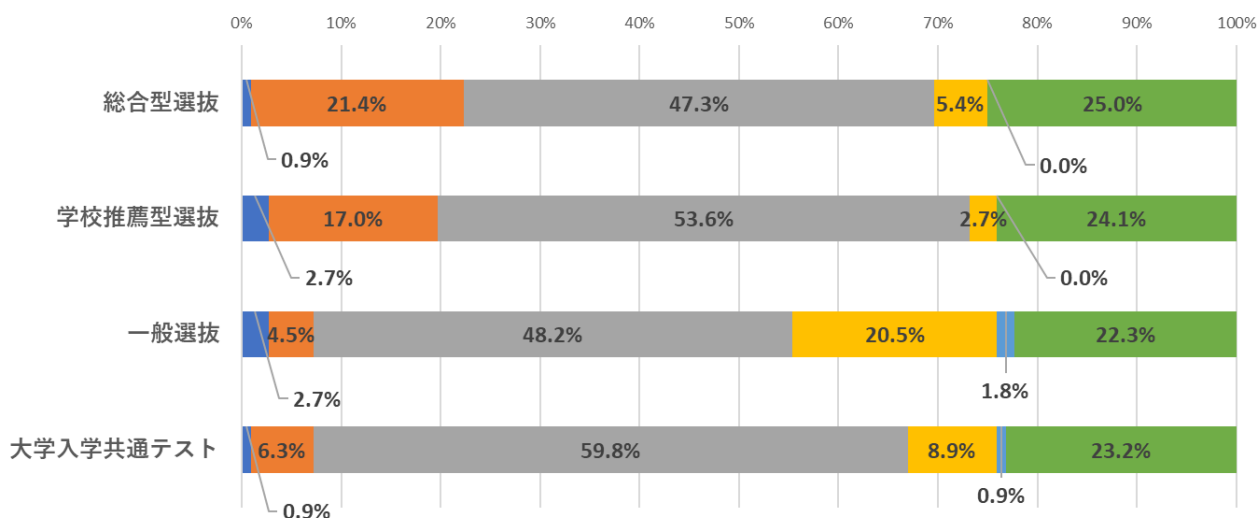


※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N数=121）



「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N数=112）

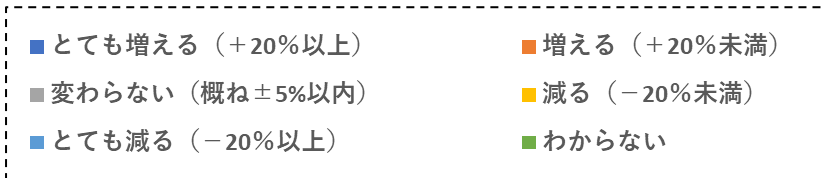


10. APPENDIX

10-3. 受験人数の変化予想（昨年度との比較） — 主要進路別 — （続き）

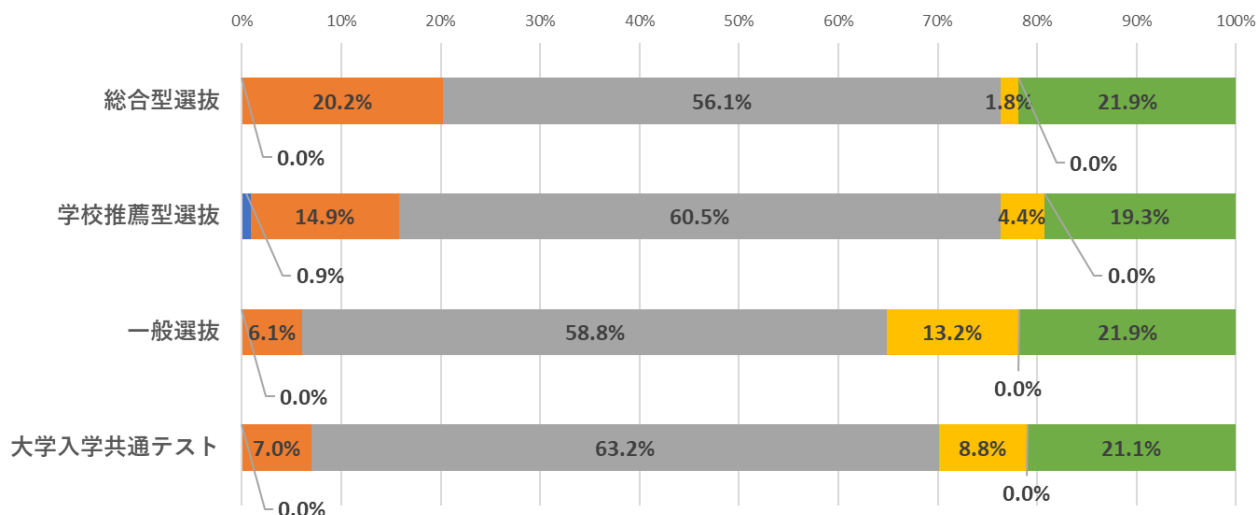
Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

▼下記の帯グラフ共通の凡例

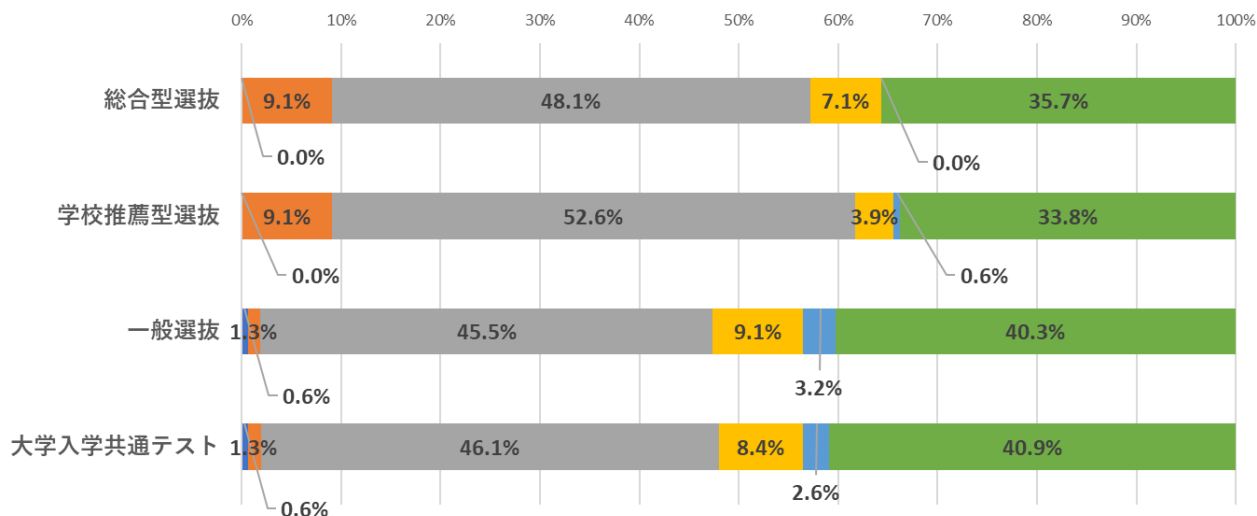


※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進路多様校」のみを集計（N数=114）



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計（N数=154）

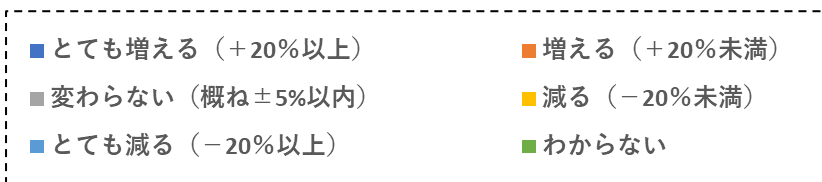


10. APPENDIX

10-3. 受験人数の変化予想（昨年度との比較） — 担当学年別 —

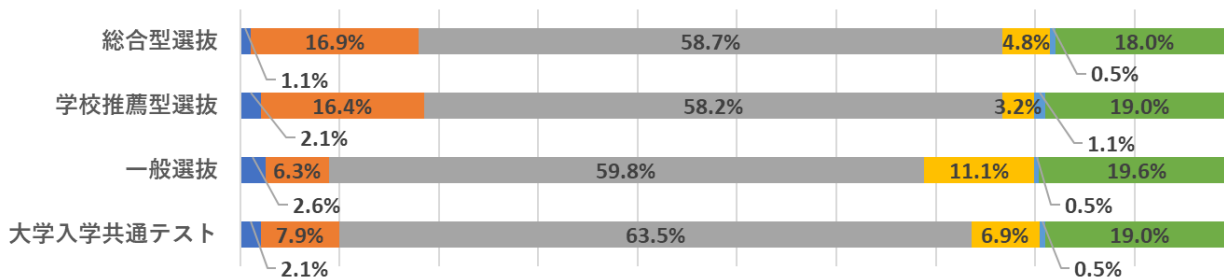
Q. あなたが主に指導している学年が受験を迎えたとき、昨年の高校3年生（2022年3月卒業）と比較して【各選抜方式】の受験人数がどうなるか、予想を教えてください。

▼下記の帯グラフ共通の凡例

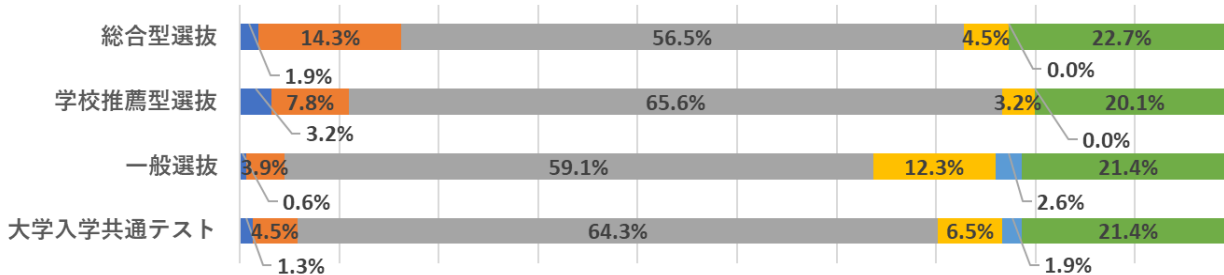


※いずれのグラフも「全日制高校教員」の回答のみを集計

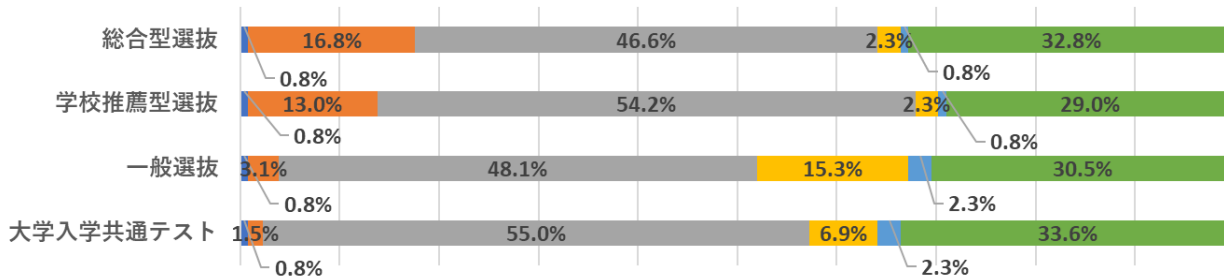
「3年生担当」のみを集計（N数 = 189）（P.9 再掲）



「2年生担当」のみを集計（N数 = 154）



「1年生担当」のみを集計（N数 = 131）



10. APPENDIX

10-6. オープンキャンパス参加状況（コロナ前との比較、昨年度との比較） — 主要進路別 —

Q. あなたが主に指導している学年のオープンキャンパス参加校数は、コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて変化しましたか。また、昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて変化しましたか。

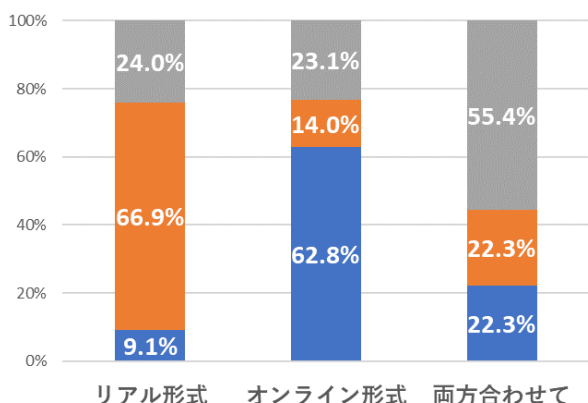
▼下記の帯グラフ共通の凡例

■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない

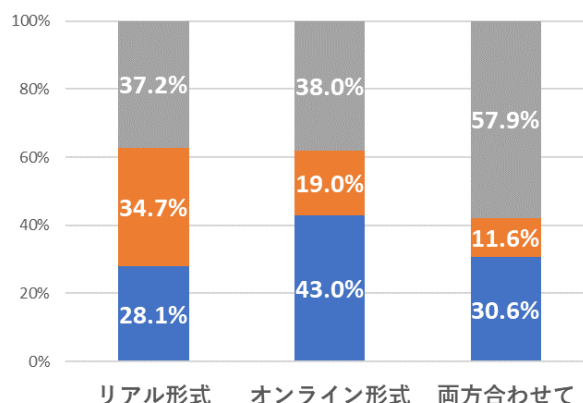
※いずれも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進学校（ほぼ大学）」のみを集計（N数=121）

【コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて】

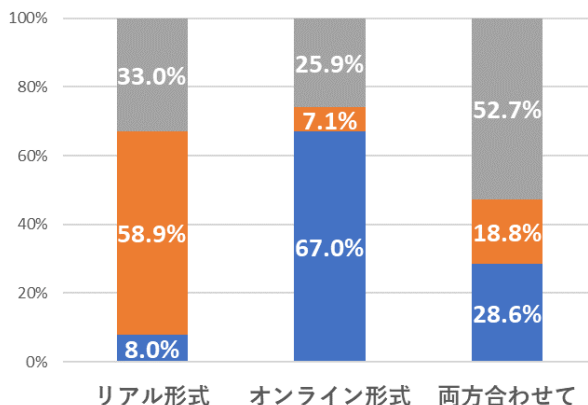


【昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて】

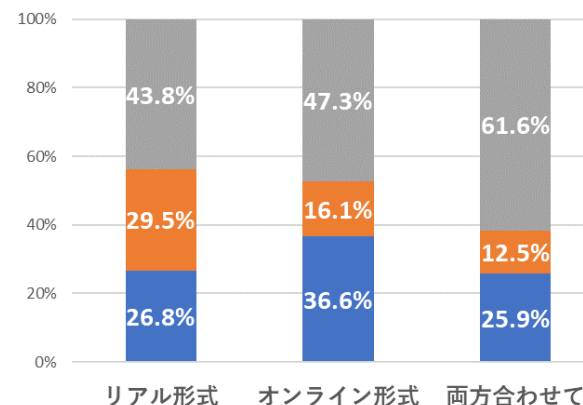


「進学校（短大・専門含む）」のみを集計（N数=112）

【コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて】



【昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて】



10. APPENDIX

10-6. オープンキャンパス参加状況（コロナ前との比較、昨年度との比較） — 主要進路別 —（続き）

Q. あなたが主に指導している学年のオープンキャンパス参加校数は、コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて変化しましたか。また、昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて変化しましたか。

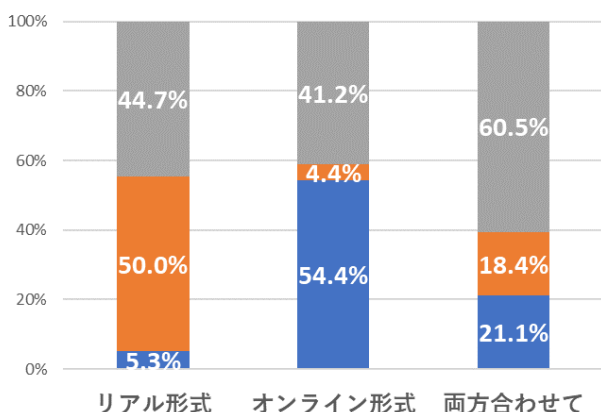
▼下記の帯グラフ共通の凡例

■ 増えた ■ 減った ■ 変わらない

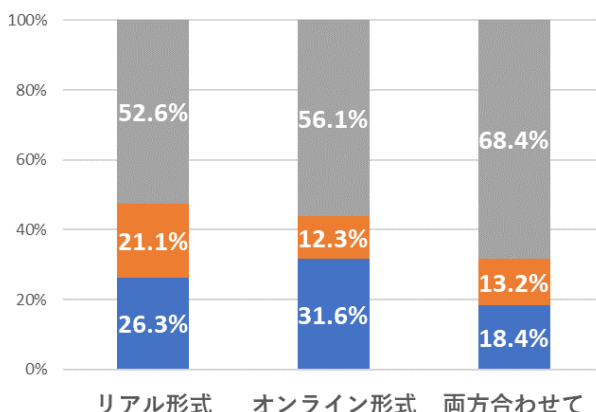
※いずれも「全日制高校教員」の回答のみを集計

「進路多様校」のみを集計（N数=114）

【コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて】

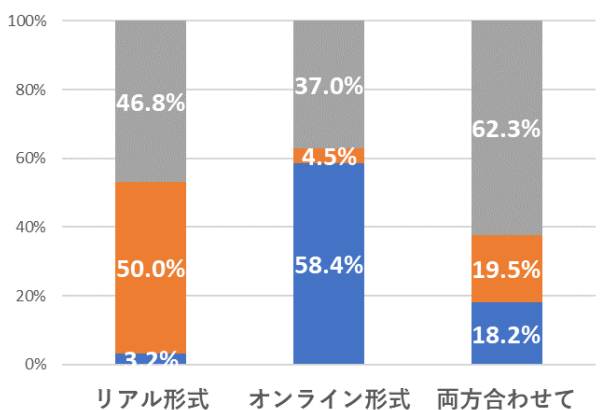


【昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて】



「短大・専門・就職メイン校」のみを集計（N数=154）

【コロナ発生以前（2020年3月まで）と比べて】



【昨年の3年生（2022年3月卒業）と比べて】

